

福祉サービス第三者評価結果報告書(公表用)

【受審事業所情報】

事業所名称	さくら保育園
運営法人名称	社会福祉法人 さくら会
福祉サービスの種別	保育所
代表者氏名	理事長・園長 和田 秀之
定員(利用人数)	150名 (166名)
事業所所在地	〒 581-0842 八尾市福万寺町4-14
電話番号	(072) 999-3386
FAX番号	(072) 999-3451
ホームページアドレス	http://www.ans.co.jp/n/y-sakura
電子メールアドレス	yao-sakura@ans.co.jp

【評価機関情報】

第三者評価機関名	大阪府社会福祉協議会 福祉サービス第三者評価センター		
大阪府認証番号	270002		
評価実施期間	平成23年7月28日～平成23年11月9日		
評価結果決定年月日	平成23年11月9日		
評価調査者氏名(役割)	1001C017 (運営管理委員)		()
	0901C032 (専門職委員)		()
	()		()
	()		()

【評価結果公表に関する事業所の同意の有無】

評価結果公表に関する事業所の同意の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
---------------------	--

第三者評価結果の概要

評価機関総合コメント

さくら保育園は豊かな自然に恵まれた中で、地域のネットワークの拠点作りに丁寧に取り組まれている家庭的な保育園です。中でも近隣の小・中・高等学校との連携等独自のカリキュラムと交流に努力と独自性が感じられます。また地域の中でなくてはならない存在としての意義も、職員全体でしっかりとした共通認識を確立され、様々な保育活動にも活かされています。

管理者は常に利用者や地域のニーズを把握し、各種の取り組みを行ない、待機児解消に向けたビジョンを立てて計画しています。また、卒園児が学童保育のみならず、高校生ボランティアとして受け入れられる仕組みが工夫されており、将来保育士を目指す者の次世代育成にも繋がっています。

特に評価の高い点

保護者の保育体験の機会が設けられており、カリキュラム作成から「保育体験証書」の交付に到るまでのプログラムは、他園にはないオリジナル性が光ります。

園長自らが、地域の委員を兼ねており、消防団等の行動を示す事が社会奉仕の啓発に繋がっています。

園内の丁寧な清掃はもちろんのこと、地域の神社等の清掃活動をはじめ、園児たちが心地よく安心して過ごせる環境作りに職員が共通認識を持って努めています。

改善を求められる点

今後は職員の就業状況について定期的にチェック、分析、検討するシステムを構築することが望まれます。

第三者評価に対する事業者のコメント

評価機関の評価を受けた内容については、早速職員会議にて話し合いを行い、取り組みが出来る点は翌日より着手しております。

その他の取り組み必要事項についても、平成23年度の事業計画に組み入れ、サービス向上に取り組んで参ります。

更に当園の保育理念・基本方針を職員に周知徹底し継続的なサービスの向上に取り組んで参ります。

評価細目の第三者評価結果

児童福祉分野の評価基準

判 断 基 準 項 目	評価結果
評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織	
Ⅰ-1 理念・基本方針	
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。	
Ⅰ-1-(1)-① 理念が明文化されている。	a
Ⅰ-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	a
Ⅰ-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。	
Ⅰ-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	a
Ⅰ-1-(2)-② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	a

評価機関コメント

法人・保育園の理念、基本方針が明文化され、廊下や保育室に掲示されています。職員会議で内容を確認したり、園のパンフレットを利用者に配布するとともに、地域福祉委員会でも説明されるなど、理念や基本方針の周知について一定の取り組みがみられます。

Ⅰ-2 計画の策定	
Ⅰ-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	
Ⅰ-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	a
Ⅰ-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	a
Ⅰ-2-(2) 計画が適切に策定されている。	
Ⅰ-2-(2)-① 計画の策定が組織的に行われている。	a
Ⅰ-2-(2)-② 計画が職員や利用者に周知されている。	a

評価機関コメント

中長期計画は園長や主任のみならず、職員からの意見聴取も基に作成しています。事業計画については張り紙や掲示版等で職員や利用者に周知しています。

I - 3 管理者の責任とリーダーシップ		
I - 3 - (1) 管理者の責任が明確にされている。		
I - 3 - (1) - ①	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a
I - 3 - (1) - ②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	a
I - 3 - (2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
I - 3 - (2) - ①	質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	a
I - 3 - (2) - ②	経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	a
評価機関コメント		
<p>園長自らが地域の各役割を担い、社会に貢献すべく責任表明を行っています。また、管理者のリーダーシップのもときめ細やかに職員の様子を把握しています。</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握		
Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
Ⅱ-1-(1)-①	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	a
Ⅱ-1-(1)-②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	a
Ⅱ-1-(1)-③	外部監査が実施されている。	b

評価機関コメント

研修や会議等を通じて得た情報を数値化して分析し、経営に反映させています。また、3ヶ月毎に公認会計士によるアドバイスを心得て経営改善に繋げていますが、今後は公認会計士等が行う外部監査の実施が望まれます。

Ⅱ-2 人材の確保・養成		
Ⅱ-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。		
Ⅱ-2-(1)-①	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	a
Ⅱ-2-(1)-②	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	a
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
Ⅱ-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	b
Ⅱ-2-(2)-②	福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	a
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
Ⅱ-2-(3)-①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	b
Ⅱ-2-(3)-②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	a
Ⅱ-2-(3)-③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a
Ⅱ-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。		
Ⅱ-2-(4)-①	実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	a
Ⅱ-2-(4)-②	実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	a

評価機関コメント

個人の希望に応じて研修をこまめに実施し、園内で勉強会も実施するなど、職員の資質向上に向けて熱心に取り組まれています。また、実習生の受け入れ体制も整備されています。職員の就業状況について主任が把握していますが、今後は定期的にチェック、分析、検討するシステムを構築されてはいかがでしょうか。また、職員の教育・研修に関する基本姿勢について、基本方針または中長期計画に明示することが望まれます。

II-3 安全管理		
II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。		
II-3-(1)-①	緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a
II-3-(1)-②	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	a

評価機関コメント

事件事故、感染症の発生時等に対するマニュアルが整備されており、職員会議等で発表して全職員・利用者に周知しています。また、逐次見直しも行なわれています。

II-4 地域との交流と連携		
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
II-4-(1)-①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	a
II-4-(1)-②	事業所が有する機能を地域に還元している。	a
II-4-(1)-③	ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
II-4-(2)-①	必要な社会資源を明確にしている。	a
II-4-(2)-②	関係機関等との連携が適切に行われている。	a
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。		
II-4-(3)-①	地域の福祉ニーズを把握している。	a
II-4-(3)-②	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	a

評価機関コメント

民生委員会と連携し、保育園の掲示板やホームページ等で園の子育て情報について開示しています。園庭開放や相談業務を通じて地域のニーズに応えています。また、高校生ボランティアや学童保育は、同窓会的に工夫されており、将来保育士を目指す者の育成にも繋がっています。また、地域の幅広い相談に対応すべく、スマイルサポーターを配置するなど体制を整えています。

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。

Ⅲ-1-(1)-①	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	a
Ⅲ-1-(1)-②	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a

Ⅲ-1-(2) 利用者満足の上昇に努めている。

Ⅲ-1-(2)-①	利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備している。	a
Ⅲ-1-(2)-②	利用者満足の上昇に向けた取り組みを行っている。	a

Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。

Ⅲ-1-(3)-①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a
Ⅲ-1-(3)-②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	a
Ⅲ-1-(3)-③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a

評価機関コメント

利用者のプライバシー保護についてマニュアルが整備されており、利用者情報は保管庫にて保管しています。また、マニュアルの内容も含めた対応方法を職員に周知しています。守秘義務については職員のみならず、実習生やボランティアにも説明し、書面を交わしています。保護者からの苦情については直ちに相談予定日時を決めて対応するなど、素早い体制が整備されています。さらに、苦情内容については申し出た保護者に配慮した上で、その内容と解決方法についてホームページ等で公開する仕組みも整備しています。

Ⅲ-2 サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。

Ⅲ-2-(1)-①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a
Ⅲ-2-(1)-②	評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	a
Ⅲ-2-(1)-③	課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	a

Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。

Ⅲ-2-(2)-①	個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	a
Ⅲ-2-(2)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a

Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。

Ⅲ-2-(3)-①	利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	a
Ⅲ-2-(3)-②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a
Ⅲ-2-(3)-③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a

評価機関コメント

サービスの質の向上に向け、職員全体の共通理解のもと第三者評価受審に臨まれました。保育園の提供するサービス内容については職員が意見を出し合って検討を重ねています。保護者からの要望にも早急に対応し、その都度見直しを行なっています。毎月行われるクラス代表による勉強会と職員会議は、「行事」「ケース」「報告」を網羅した内容であり、子どもの状況に関する必要な情報が職員間で的確に共有化される仕組みが整備されています。

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。

Ⅲ-3-(1)-①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a
Ⅲ-3-(1)-②	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a

Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。

Ⅲ-3-(2)-①	事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a
-----------	---	---

評価機関コメント

見学希望者に対しても事前連絡で見学日等を調整し、案内を行った後は質疑応答の時間を設けています。退園、卒園後も、保育園にいつでも電話相談ができるよう配慮しています。

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。

Ⅲ-4-(1)-①	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a
Ⅲ-4-(1)-②	利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	a

Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。

Ⅲ-4-(2)-①	サービス実施計画を適切に策定している。	a
Ⅲ-4-(2)-②	定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a

評価機関コメント

職員会議では個別のケースに対する共通認識を図っています。個人懇談会は年2回実施され、保護者の意向を基に個々の子どもに対応しています。

児童福祉分野【保育所】のサービス内容基準(付加基準)

判断基準項目		評価結果
A-1 子どもの発達援助		
1-(1) 発達援助の基本		
A-1-(1)-①	保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	a
A-1-(1)-②	指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	a
1-(2) 健康管理・食事		
A-1-(2)-①	登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	a
A-1-(2)-②	健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a
A-1-(2)-③	歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a
A-1-(2)-④	感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	a
A-1-(2)-⑤	食事を楽しむことができる工夫をしている。	a
A-1-(2)-⑥	子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a
A-1-(2)-⑦	子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a
A-1-(2)-⑧	アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a
1-(3) 保育環境		
A-1-(3)-①	子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
A-1-(3)-②	生活の場に相應しい環境とする取り組みを行っている。	a
1-(4) 保育内容		
A-1-(4)-①	子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	a
A-1-(4)-②	基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	a
A-1-(4)-③	子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	a
A-1-(4)-④	身近な自然や社会とかがわれるような取り組みがなされている。	a
A-1-(4)-⑤	さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。	a
A-1-(4)-⑥	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	a
A-1-(4)-⑦	子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	a
A-1-(4)-⑧	性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	a
A-1-(4)-⑨	乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a
A-1-(4)-⑩	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a
A-1-(4)-⑪	障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a

評価機関コメント

近隣との心温まる交流活動を始め、地域性も十分に活かした幅広い保育活動の取り組みを丁寧に行っています。また、ひとりひとりの園児の月齢や保育年齢に合わせた指導計画作りはもちろん、育児支援や家族援助方法にも力を注がれています。
 さくら保育園独自の「お伝えノート」や「お残り引継ノート」は、即時に職員間の共通認識を促すためのアイデアとしてもとても役立っています。
 保育室内ではコーナー作りや園児たちが安心して過ごせる環境作りにも細やかな配慮が見られます。

A-2 子育て支援

2-(1) 入所児童の保護者の育児支援

A-2-(1)-①	一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	a
A-2-(1)-②	家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	a
A-2-(1)-③	子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	a
A-2-(1)-④	虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	a
A-2-(1)-⑤	虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	a

2-(2) 一時保育

A-2-(2)-①	一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	a
-----------	---	---

評価機関コメント

朝夕の送迎時には家具の配置を考えた検温コーナーを設定する等、積極的に保護者とのコミュニケーションを取りやすくするための工夫を感じました。育児相談記録用紙についても、丁寧で要点を押さえた内容のものとなっていました。また保護者やボランティアを対象とした保育士体験において、マニュアルから終了時の証書渡しに到るまでの取り組みには、さくら保育園独自のセンスとクオリティーの高さが光ります。

A-3 安全・事故防止

3-(1) 安全・事故防止

A-3-(1)-①	調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	a
A-3-(1)-②	食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている。	a
A-3-(1)-③	事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取組を行っている。	a
A-3-(1)-④	事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a
A-3-(1)-⑤	不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a

評価機関コメント

調理室内の整理・整頓は勿論のこと、衛生管理マニュアルに従って適切に実施されています。食中毒、事故や自然災害の防止、並びに不審者対応マニュアルも整備され、定期的な訓練の実施にも積極的に取り組んでいます。

A-4 子どもの発達・生活援助

4-(1) 子どもの発達・生活援助

A-4-(1)-①	体罰等子どもへの不適切な対応が行われないよう、防止と早期発見に取り組んでいる	a
-----------	--	---

評価機関コメント

子どもへの援助方法に関しては、適切かつ公平に行われています。子どもだけでなく、保護者に対しても常に広く目を向けた取り組みは、虐待の早期発見と防止にも繋がっています。

利用者(保護者)への聞き取り等の結果

調査の概要

調査対象者	さくら保育園を利用中の保護者
調査対象者数	140 世帯
調査方法	アンケート調査

利用者(保護者)への聞き取り等の結果(概要)

さくら保育園を現在利用している保護者140世帯を対象に調査を行いました。送迎の時間を利用して保育園から調査票を配布してもらい、回収は評価機関へ直接郵送する形をとり、61世帯から回答がありました。(回答率43.6%)

特に満足度の高い項目として「保育園に入園した際に、保育の内容や方法について、説明があった」「健康診断の結果について、園から伝えられている」「献立表やサンプル表示などで、毎日給食の内容がわかるようになっている」「給食のメニューが充実している」「懇談会や保育参観など保護者が保育に参加する機会がある」が90%を超える満足度、「送迎時の保育士との話や連絡帳などを通じて、園や家庭での子どもの様子について情報交換がされている」「園内で感染症が発生した際には、その状況について必要に応じて連絡がある」「園の保育について、あなたの意見や意向を伝えることができる」などが80%を超える満足度となっています。

* 別紙報告書